

会計人の教養

12



学校法人高橋学園

専門学校 東京CPA会計学院 熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p style="padding-left: 20px;">② 「おねがいします！」</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 「ありがとうございました」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 「失礼します」</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">②「〇ページをお開き下さい」</p> <p style="padding-left: 20px;">③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <p style="padding-left: 40px;">★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</p> <p style="padding-left: 40px;">★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</p> <p style="padding-left: 40px;">★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」</p> <p style="padding-left: 40px;">「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「以上で朝礼を終わります。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

会計人の教養

12

ひとりひとりが経営者

20 19 18 17 16 14 13 12 11 10 9 7 6 5 4 3 2

金 木 水 火 月 土 金 木 水 火 月 土 金 木 水 火 月

気持ちの良い挨拶
稲盛和夫
睡眠
朝日
笑顔
「ありがとう」で心を豊かに
老舗の次なる一杯
音楽
日本の制服文化を未来につなぐ
世界一の感動を
読書
感動のタクシー会社
視野を広げる
経営の神様
教養人
暮らしを支える万能食品
日々の掃除

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

※今月号は、
2016年9月～2017年1月までに掲載された
過去の記事を再編集したものです。

25 24 23 21

水 火 月 土

真冬の楽しみ方
規則の必要性
日本語の乱れ
矢場とん

21 20 19 18

2019 DECEMBER

令和元年 師走[しわす]

第5巻12号(通算54号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

気持ちの良い挨拶

挨拶は、人に会ったときや別れるときなどに取り交わす動作や言葉です。特に、初対面の人に好印象を与えるためには、挨拶は重要です。

元々は、仏教の禅宗で使われている「一挨拶」が語源とされており、挨拶は「押す」は「迫る」という言葉なので、合わせて「押し迫る」という意味になり、師が弟子の心の深淺を推察し、弟子が師匠に応答を迫るという、心と心のぶつかり合いを意味する言葉だったようです。

現在でも、挨拶はコミュニケーションの基本といえるでしょう。立ち止まって笑顔で挨拶をすることで、良い印象を与えることができます。みなさんも小さい頃、元氣良く「おはよう」「こんにちは」と、挨拶をしていたのではないのでしょうか。

しかし、年齢を重ねるにつれて、挨拶ができなくなる人は多いようです。埼玉県で行われたある調査によると小、中、高校生のときに挨拶をしない家庭では、生活の満足度が低いことがわかりました。

挨拶が大切だと頭では分かっている、家族、先輩、後輩、上司といった様々な人に対して本当に当たり前に挨拶ができていますでしょうか。みなさんも挨拶を見直して、気持ちのよい挨拶を心がけましょう。

今日の心がけ◆誰にでも気持ちの良い挨拶をしましょう。

稲盛和夫氏は、「京セラ」並びに「KDDI」の設立者であり、近年では、一兆円近くの債務超過状態に陥り、再建は不可能とまでいわれた「JAL」を、会長就任からわずか二年で営業利益二千億というV次回復を成し遂げた、戦後日本を代表する経営者です。

稲盛氏は、自身の著書の中で、「会計は現代経営の中枢をなすものであり、経営者は会計原則、会計処理にも精通していることが必要」と著しており、会計の重要性を謳われています。

稲盛氏が経営を行っていく中で、自らの経営哲学を実現するために創り出した経営手法の一つに、「アメーバ経営」というものがあります。アメーバ経営は、まず、組織をアメーバという小集団に分け、アメーバそれぞれで、計画・目標を立て、メンバー全員が知恵を絞り、努力することで、アメーバの目標を達成していきます。そうすることで、現場の社員一人ひとりが主役となり、自主的に経営に参加する「全員参加経営」を実現することができます。

このアメーバ経営は、「京セラ」をはじめ、「KDDI」や「JAL」にも導入され、企業を支える役割となっています。

稲盛氏が、「アメーバ経営」について書かれている本も出版されているので、会計を学ぶ我々も是非読みたいものです。

今日の心がけ◆アメーバ経営を学びましょう。

「寝る子は育つ」という諺があるように、睡眠とは、毎日の中でとても欠かせないものです。現代では、ただ睡眠をとるだけではなく、睡眠の質も重要視されています。全国睡眠財団の調査によると、若年者の推奨睡眠時間は、七〜九時間であり、日本の一日の平均睡眠時間が四百七十分であるのに対し、スペインは、五百三十分と四十分も差がついています。

睡眠平均時間が多いスペインをはじめとする地中海地方は、昼食後に睡眠を含む一休みをする「シエスタ」という風習が、健康を促進する効果があるとされています。しかし、ただ睡眠をとるだけでは疲れはとれず、無呼吸症候群などの病気になる恐れもあります。睡眠で最も大切なことは、「リラックスすること」です。無理に寝ようとする返ってストレスがたまり、余計眠れなくなるのです。

日本では、特に若い世代の睡眠の質があまり良くなく、夜遊びや仕事などで良い睡眠を十分にとっていない傾向が見られます。自分なりの良い睡眠を心がけ、翌日に向けて気持ちをリフレッシュすることが大事です。

今日の心がけ◆質の良い睡眠をとりましょう。

日々生活していく中で、多くのストレスを抱えることもあると思います。そのようなときに効果的なのが、朝日を浴びることです。

具体的には、不眠症の解消や自律神経を整えること、また、体内時計を正常化できるなどの効果が上げられます。

さらに、科学的にも朝日を浴びることは、心身の健康保持に良いといわれています。朝日を浴びることで、「セトロニン」と呼ばれる神経伝達物質が作られ、気持ちを落ち着かせ、脳を活性化させるといったことが証明されています。

朝日を浴びることだけで、自分の健康を維持することにつながり、結果として一日の学習にも集中して取り組むことができます。

日々の学習に集中するためにも、毎日朝日を浴びて、一日を気持ちよくスタートさせましょう。

今日の心がけ◆朝日を浴びましょう。

気分次第で顔の表情は変化するというのは当たり前ですが、顔の表情次第で気分が変化するという説は、あまり知られていないのではないのでしょうか。

アメリカの研究者クラフトは、大学生百六十九人を、笑っていないグループ（以下A）、笑顔の口の形をキープするために、箸をくわえたグループ（以下B）に分けました。

そして、学生たちには氷水に手を入れたり、鏡に映った対象物の動きを、利き手ではない手で追うといった作業をしてもらいました。このストレスを引き起こすための作業については、学生たちに一切理由は知らされていませんでした。

すると、AよりBのほうが作業をしている間のストレスが少なく、作業中の心拍数も低いことがわかりました。

この結果からも分かるように、笑顔の力は計り知れません。あなたが仕事や友人関係でストレスを感じているときこそ、絶やすことが無いよう心掛けましょう。

今日の心がけ◆笑顔を忘れないようにしましょう。

東京CPA会計学院には、「ありがとうカード」というものがあります。これは、感謝の気持ちをメッセージで気軽に伝えることができるツールとして導入されました。

ありがとうカードが導入されてから、掃除を手伝ってくれたお礼や、わからない問題を教えてくれたお礼など、様々な場面で感謝が飛び交うようになりました。

この感謝の伝え合いは、多くの企業でも実施されています。例えば、日本航空も、ありがとうカードによって社内の連携を高めており、ヤマト運輸も、他人からの感謝などを「満足ポイント」として業績評価などに反映させています。

「ありがとう」と感謝することは、やってもらうことを当たり前と思わず、相手を尊重し、認め合う気持ちの表れではないでしょうか。

誰しも、自分の行いが評価されたり、認められたりすると嬉しいものです。「ありがとう」は、伝えるだけで、自分も相手も心が豊かになる魔法の言葉なのかもしれません。

今日の心がけ◆「ありがとう」を伝えましょう。

コンビニコーヒーがすっかり定着し、産地にこだわるスペシャリティコーヒーを扱うカフェが人気を博すなど、いまや空前のコーヒーブームです。国内のコーヒー消費量は、三年連続で過去最高を更新しました。

そのような、日本のコーヒー文化を戦後から牽引し、川上から川下まで一貫したコーヒー事業を展開するのがUCCです。世界初の缶コーヒーを開発し、レギュラーコーヒーでは、十六年連続でシェアトップを独走しています。

人気の裏には、一杯のコーヒーにかける情熱と常識を覆すアイデアがあります。例えば、社長の上島昌佐郎氏は、世界中のコーヒー農園を訪ねて周り、無糖ブラックコーヒーやカフェインレスコーヒー、スパークリングコーヒーなど、斬新な商品を開発してきました。

UCCの研究施設には、味覚センサーという機械があり、たこ焼きや焼きおにぎりといった食べ物の成分を分析し、コーヒーに合う食材や食事に合うコーヒーを発見できるそうです。

情熱を持って物事に取り組み、常に研究する姿勢から、常識を覆すようなアイデアが出るのかもしれないね。

今日の心がけ◆一杯のコーヒーを味わいましょう。

みなさんは、「音楽」というものが、何がきっかけで生まれ、今のような姿になっていったのかを知っていますか。

西洋音楽では、リズム、メロディー、ハーモニーの三要素を持つものが音楽とされています。この三要素を音の性質を利用し、時間の流れにそって音を組み合わせています。例えば、この中にあるリズムは、雨の音、鳥のさえずりなどから生まれ、民謡になり、そこに楽器が加わり、さらに人の歌声が加わり今の音楽になったと考えられます。

自然の音を主材料としている昔の音楽と比べ、今私たちが聴いている民謡、クラシック、ロックなどの音楽は、幾度となく変化を繰り返した音です。

音楽に留まらず、今私たちが豊かな暮らしを送れるのは、たくさんの方の苦難を乗り越えた先人たちの知恵と努力のおかげです。身の周りにあるものを当たり前と思わずに、その経緯や歴史を学び、根底にあるものを知ることが大切です。

今日の心がけ◆知ることを楽しみましょう。

青春の思い出の一つ、学生服。その学生服は、必ず四月の入学式に間に合うように納品しなければなりません。しかも、どんな体型の生徒にも対応し、三年間の耐久性も求められるという特殊な製品です。

今年で創業百四十周年を迎える学生服大手のトンボは、一万校分・年百五十万着の学生服を全て国内で生産しており、学校別のボタンや裏地の在庫も全部担っています。

そのような学生服作りは、究極の多品種少量生産です。学校ごとに、形もボタンも糸の色も違い、納期も入学式に集中するという非効率な商売です。トンボは、採算をとるために立ちミシンといって、生地をもった作業員が、縫製過程ごとにミシンを移動し、制服を縫い上げます。

また、効率アップ専門社員がおり、作業時間をストップウオッチで計測し、どこに無駄な動きがあるかをチェックし、一秒単位で効率の改善に努めています。

このような、緻密な計算と絶え間ない努力の下に、私たちの青春である制服が作られています。

今日の心がけ◆歴史を振り返り、未来に残しましょう。

「晩白柚」は、大きいものでサッカーボールほどの大きさをもつ、世界最大の柑橘類です。晩春には枝先に大きい花が咲き乱れ、あたり一面に芳香を漂わせます。

戦前、熊本県八代市出身の島田弥一氏が、原産地ベトナムの船上で、食後に出された晩白柚を食べました。その美味しさに感動し、当時の勤務地であった台湾に、苗木を持ち帰ったといわれています。晩白柚は台湾の一部で普及し、その後、台湾から鹿児島県に伝えられ、昭和初期に、最も栽培に適した気候である熊本県で本格的な栽培が始まりました。

白柚（ザボン）よりも成熟が遅いため、いつしか晩白柚と呼ばれるようになり、さらに品種改良を重ねて、現在のとても甘く瑞々しいフルーツへと進化しました。

ほぼ百パーセントが熊本県で栽培されており、現在は、熊本県の名産品の一つです。果肉の美味しさに加え、厚皮も砂糖漬けのお菓子に加工することができ、お歳暮などの贈答品としても親しまれています。

島田氏の一瞬の感動と行動力が、現在の熊本の産業を支え、また、多くの人へと感動を伝えているのですね。

今日の心がけ◆「感動」を分け合いましょう。

みなさんは、本を読む事は好きですか。本にも様々なジャンルがあり、小説、歴史、自己啓発など、多岐に渡ります。さらに、本を読むことで、心が穏やかになる、読解力がつくと耳にします。

資生堂の名誉会長である福原義春氏は、「空気読むより本を読め」といわれています。読書家である福原氏は、特に歴史書を好んで読み、今となつては聞くことのできない先人達の知恵を、本を通じて知ることができると提唱されています。

さらに、何度も繰り返し読むことで、本の内容が血肉化し、読書の効果が上がると提言されています。

このように、本を読むことには大きなメリットがあり、ビジネスで成功するには読書が必須です。しかし、仕事が忙しくて時間がない。家事に追われて休めないなど、本を読むことができていない方も多いと思います。

私も学校の学習が忙しく、朝の十分しか本を読む事ができません。しかし、自己啓発書を読んで、自分の考えを見直す良い機会となっています。みなさんも、少しの間で良いので、時間を作り、読書を始めてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆本を読みましよう。

長野市民から圧倒的な支持を得て、県内ナンバーワンの売上実績を誇るタクシー会社である中央タクシー。中央タクシーは地方で経営するタクシー会社の九割が赤字といわれる中、破竹の勢いで利益を伸ばしています。

お客様が「三十分待つてでも乗りたい」と言うほどの人気を支えるのは、徹底した「真心サービス」にあります。中央タクシーのすべてのドライバーは、タクシー会社とは思えないほど親切です。高齢者にはさつと手を貸し、さりげなく買い物袋を運び、雨の日には傘も差します。そして、車内の会話を通してお客様の家族のことを気にかける、三百メートルという近距離でも喜んで運行してくれる、まるで家族のような存在です。

中央タクシーには、接客マニュアルは存在しません。実は、その質の高いサービスを支えているのは、驚くほど仲の良い社員たちの人間関係です。会長の宇都宮氏は、「社内の良い人間関係こそが、良いサービスを生み出す」といわれています。

中央タクシーは、離職率が二十〜三十パーセントといわれる業界にあつて、わずか一・五パーセントという低い離職率を実現しており、社員同士の幸せがお客様を幸せにするという好循環を生み出しています。

利益よりもお客様の満足と幸福実現を優先する中央タクシー。長野県に足を運んだ際には利用してみたいですね。

今日の心がけ◆真心を持って接しましょう。

視野が広いとは、どのようなことなのでしょうか。

一般的に「視野が広い人」というのは、今だけや目の前のことだけでなく、これから先のことを見据えた行動や、周りの人の事を考えた言動ができる人のことだと思います。

また、視野の広がりを実感するには、自らが成長し、過去の自分を顧みたとき、初めて「視野の狭さ」や「視野の広がり」を感じることができると考えます。

視野を広げるには、自らが成長するしかありません。決して今までの自分を正しいと思わず、新しい知識や体験、人との触れ合いによって過去の自分にはないような考えにふれ、吸収することで、視野を広げることができると感じます。

これから、社会に出ていく私たちにとって、新しいものに遭遇する機会は沢山あると思います。そのようなときに、素直さをもって受け入れ、ときには、貪欲に学ぶことによって、自然と視野を広げていく事が可能となるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆視野を広げましょう。

戦後日本を代表する実業家の一人に、「経営の神様」の異名を持つ人物がいました。世界的な総合家電メーカーである「松下電器産業」（現・パナソニック株式会社）を一代で築き上げた経営者、松下幸之助氏です。

経営の神様と呼ばれる所以は、自主責任経営の徹底と経営者の育成を目的として、日本で初めて組織としての事業部制を実施するなど、独自の思想を持って経営に携わる名手として天才的な技量を発揮していたことに由来します。

そんな成功者としての松下氏ですが、少年時代を自分ではどうにもできない境遇の中で過ごしました。松下家が幼い頃に凋落したため、小学校を四年で中退し、九歳で親元を離れ丁稚奉公に出されます。さらに、毎年十月から三月まで風邪で床に伏せるほど常に健康状態も良くありませんでした。

しかし、松下氏は成功の秘訣を「貧乏で学歴もなく、体も弱かった。だから成功した。」と述べています。貧しかったからお金の価値がわかった。学歴がないから自分より優秀な人の力を借りた。健康でなかったから人に任せるしかなく、結果的に部下が育った。普通ならば成功しない理由として挙げられるような要因が、自分を成功に導いたと考えていたのです。

禍を転じて福と為す。まさに、松下氏は自身に降りかかった災難を立場や見方を変えてみることによって、成功への足掛かりにしたのです。事実の一つです。しかし、考え方は一つではありません。自分の選択した考え方で、禍を禍のままにしないようにしましょう。

今日の心がけ◆見方を変え、福を増やしましょう。

教養とは、学問や幅広い知識、精神の修養を通して得られる「創造的活力」や物事に対する「理解力」などをいいます。また、社会生活を営む上で必要であり、専門的、職業的知識を意識したものを「一般教養」と称します。

教養という言葉は、その基となった英語やフランス語の *Culture*（カルチャー）が、「耕作」という意味のラテン語の *Cultura*（クルトゥーラ）からきていることから、人間の精神を耕すことが教養であるとして「心の耕作」とも表現されています。

何を以て心を耕すかは人それぞれですが、一般的に教養を身につけるのに最適なことは、本を読むこと。多くは古典や歴史書だといわれています。

しかし、ただ本で学ぶだけでは、立派な教養人ではなく、ただの知識人になってしまいます。知識をもって、それをどう活かすかが、立派な教養人としてのカギではないでしょうか。

また、必要とされる教養は、年代や環境によって変化していきます。今、私達が身につけておくべき教養は何なのか、改めて考えてみましょう。

今日の心がけ◆自分に必要な教養を考えてみましょう。

熊本県には、日本で「唯一味噌にご利益がある」といわれる神様を祀った、本村神社（味噌天神）があります。

奈良時代に、悪疫が流行した際、平癒を祈願して「御祖天神」を御祭神として祀ったのがはじまりとされています。その後、国分寺で大量に腐ってしまった味噌を、美味しい味に変えた、という言い伝えから味噌天神と呼ばれるようになりました。

味噌は、大豆や米、麦などの穀物に、塩と麴を加えて、発酵させて作られます。「医者に金払うよりも、味噌屋に払え」ということわざができるほど、体に良く、がん予防や老化防止、美肌効果があります。

味噌の歴史は長く、平安時代では、貴重な食品で、おかずや薬として利用されていました。現代のように、水に溶かして食べるようになったのは、鎌倉時代からといわれています。戦国時代には、戦場での食料として食べられていました。武将たちは、味噌作りを奨励し、信州味噌や仙台味噌など、地方の特色ある味噌が誕生しました。それぞれの風土に合わせて作られた味噌が、数多くあります。日本人の生活を支えてくれた味噌を大事にしたいですね。

今日の心がけ◆味噌に感謝しましょう。

みなさんは、日々の掃除をどのような気持ちで行っていますか。「きれいにしよう」と思って掃除をしている人もいれば、「めんどくさいな」と思っている人もいるかと思えます。

掃除は、ただ単に行えばいいということではありません。面倒だと思って掃除をしても掃除の意味がないのです。きれいにしようという心構えがなければ、いくら掃除をしてもきれいになりません。

掃除をすることは、その場をきれいにするだけではなく、心も育まれます。松下電器の創立者である松下幸之助氏は、人財教育において掃除を大切にしていました。

それは、専門的な知識や技術の習得の前に、一人の自立した人間になることが大切であり、社会人として人間的修養を積むためにも、掃除が必要であると考えていたためです。

私達は、学校で毎日のように掃除をしています。掃除をすることは、単にきれいにするだけではなく、自立した人間になるためにも日々の掃除を大切にしていきましょう。

今日の心がけ◆掃除を大切にしましょう。

名古屋めしの代名詞の一つである「みそかつ」。その人気に火をつけたのは、「矢場とん」という一軒の大衆食堂です。

今や年間二百三十七万人の客が押し寄せ、タイや台湾にも出店する程の人気店です。その快進撃を続ける「矢場とん」を築いたのは、創業家に嫁いできた一人の女将・鈴木純子さんです。

全国的な一流のとんかつ店を目指し、のれんや食器、取引銀行から税理士まで変えました。また、従業員の教育にも力を入れることで、無断欠勤や遅刻もなくなりました。さらに、従業員の家族を含めた三者面談まで行い、離職率が五十パーセントを超える外食業界で、九パーセントと圧倒的な低さを誇っています。

母の優しさは偉大なりという言葉があるように、一つのとんかつ屋がここまで発展したのは、母親のような大きな優しさを持つ女将の人柄の賜物だと思えます。

今日の心がけ◆母性を持ちましょう。

みなさんは、日本語を話せることに喜びを感じたことがありますか。

近年、日本語が乱れているという話を耳にします。「やばい」という言葉のみで様々な意味を表現することや、問題ないことを伝える際の「全然大丈夫」などです。

このような言葉は多くの人が使用していますが、言葉の本来の意味を理解することが大切だと思います。

そこで着目したいのが、日本古来の言葉である大和言葉です。大和言葉とは、漢語や外来語が来る前から日本語に存在した単語のことで、古くは、和歌の意味で「やまとのことのは」とも言われていたものです。

大和言葉には「ふるさと」「うららか」「夕暮れ」「心ばかり」などの綺麗な表現が多くあります。このような温かみのある大和言葉を、大切にしたいものですね。

今日の心がけ◆大和言葉を使ってみましょう。

規則とは何故あるのでしょうか。そのように考える人は、規則は各人の行動を制限するものと考えているのではないのでしょうか。

では、規則がない場合を考えてみましょう。例えば、日本の交通ルールでは、車は左側通行ですが、もしこのルールを守らなければ、交通は妨げられ、人の行き交いはスムーズにはいかなくなります。

このことから、規則は各人の行動を制限するものではなく、むしろ、各人の能力を最大限に活かすものだという事が分かります。

規則がない無法地帯では、人々はたえず警戒する必要がある、それによって各人は「自由」を制限されたり奪われたりするのです。

確かに、よく分からないような規則もありますが、それらも先人たちが必要だと考えたからこそ決められたものです。頭ごなしに否定せず、規則の必要性を考えてみるといいかもかもしれませんね。

今日の心がけ◆規則を守りましょう。

これはギリシャ神話のお話です。自分の力をひけらかすオリオンを見かねた女神は、オリオンの足元にサソリを置いたところ、オリオンは毒針に刺され、死んでしまいました。その後、オリオンもサソリも星座として空に上げられましたが、今でもオリオンは、さそり座が東の空に昇り始めると、逃げるように西の空に沈んでいきます。星座には、このような神話がたくさんあります。

そして、いろいろな神話があるたくさん星座を見られるのは、冬の季節の醍醐味ではないでしょうか。

けれども、この時期になると冬の大將軍と呼ばれるほどの寒波が押し寄せます。外に出るのも億劫で、炬燵から出られないという人も多いでしょう。

しかし、そのようなときこそ厚着をして、外に出て星を眺めて見て下さい。きれいな星空が辺り一面に広がり、冬の星座を楽しむことができますと思います。

今日の心がけ◆外に出て星座を楽しみましょう。